

# 市制記念式典開催事業

企画調整部秘書課

## 1 目的

12市町村の合併10周年を迎える平成27年度の市制記念式典において、ノーベル物理学賞を受賞した天野浩名古屋大学大学院教授に対する名誉市民推挙や講演、地域間交流などの発信により、市民が積極的に参加する市制記念式典を執り行い、市のより一層の一体感を醸成する。

## 2 背景

- ・平成27年7月1日は、市制記念日であり、合併10周年を迎える日である
- ・天野浩名古屋大学大学院教授のノーベル物理学賞受賞や徳川家康公顕彰四百年記念事業など、市制記念式典と一体となって浜松市の魅力をアピールできる慶事、事業が存在する

## 3 事業内容

開催日	平成27年7月1日(水)	15:30~20:30
会場	アクトシティ浜松大ホール	
内容	第一部 式典 第二部 天野浩名古屋大学大学院教授講演会 第三部 活動発表(地域間交流発表) 徳川家康公顕彰四百年記念講演(シンポジウム「徳川家と武田家」)	

## 4 事業費 8,105千円

- |           |                              |
|-----------|------------------------------|
| ・委託料      | 3,101千円(市制記念式典運営等業務委託)       |
| ・報償費      | 2,845千円(名誉市民・市勢功労者記念品、講師謝礼等) |
| ・使用料及び賃借料 | 1,695千円(会場使用料)               |
| ・その他      | 464千円                        |

# シティプロモーション事業

企画調整部広聴広報課

## 1 目的

戦略的にメディアやツールを活用することにより都市の知名度やイメージ向上を図り、国内外から支持される都市ブランドの確立や魅力度アップにつなげるため、平成 26 年度に立ち上げた「出世旅プロジェクト」の中で具現化した「出世街道」「出世飯」「出世土産」等について、更なるPRを行い、国内外に発信していくことで「浜松」＝「出世の街」の定着を図る。

## 2 背景

- ・平成 27 年 1 月から 12 月まで徳川家康公顕彰四百年記念事業が開催され、浜松市のみならず、静岡市、岡崎市においても多数のイベントが予定されており、本市のPRには絶好の機会である
- ・平成 25 年度には出世大家康くんがゆるキャラ®グランプリ 2013 で準グランプリを獲得。平成 27 年 11 月には、ゆるキャラ®グランプリ 2015in 出世の街 浜松が開催される

## 3 事業内容

- ・「出世の街 浜松」全国プロモーション及び戦略的メディアリレーション 26,473 千円  
「出世旅プロジェクト」で具現化されたコンテンツを中心に浜松の魅力を発信することで「浜松」＝「出世の街」の認知度の向上を図るほか、ものづくり、食、観光、音楽、スポーツ等の各分野においても全国的なメディア展開により本市の魅力を発信
- ・情報誌制作（HAMA流 110,000 部×3 回発行）及びポスター制作 12,312 千円
- ・特産品紹介サイト管理運用業務 680 千円

## 4 事業費 71,617 千円

- ・委託料 57,448 千円（「出世の街 浜松」プロモーション、家康くん関連経費等）
- ・役務費 5,028 千円（広告料、商標登録手数料等）
- ・需用費 4,194 千円（PRグッズ制作等）
- ・旅費 2,455 千円
- ・その他 2,492 千円

# 徳川家康公顕彰四百年記念事業

企画調整部広聴広報課

## 1 目的

平成 27 年に徳川家康公薨去四百年を迎えるに当たり、「誕生の岡崎、出世の浜松、大御所の静岡」として 3 市が連携して事業を行うことで事業規模を拡大し相乗効果を狙う。

浜松市においては、家康公が天下統一の礎を築いた浜松城在籍時の出世ストーリーを活用するなど、「出世の街 浜松」を国内外に広くアピールするとともに、家康公が遺した歴史的・文化的財産や価値を再発見し、新たな文化・観光の創出を目指す。

## 2 背景

- ・平成 27 年は、徳川家康公薨去から四百年に当たり、家康公ゆかりの地である、浜松市、静岡市及び岡崎市の 3 市と各商工会議所と静岡県が中心となり、徳川家康公顕彰四百年記念事業に取り組んでいる

事業期間：平成 27 年 1 月 1 日～12 月 31 日

## 3 事業内容

- ・市民参加型の記念セレモニーやイベントを開催
  - 中間セレモニー 4 月 25 日
  - 家康楽市 春の陣 4 月 25 日～ 4 月 26 日
  - シンポジウム「徳川家と武田家」 7 月 1 日
  - 家康楽市 秋の陣 10 月 24 日～10 月 25 日（出世の街浜松 家康公祭りと同時開催）
- ・浜松城在城時の勇猛果敢な大将としての家康公のイメージ作りを目指し、俳優をイメージキャラクターとして起用し、若き日の家康公のプロモーションを実施
- ・松下屋敷跡（南区頭陀寺町）一部発掘調査

## 4 事業費 55,270 千円

- ・負担金補助及び交付金 53,000 千円
- ・役務費 1,500 千円
- ・委託料 770 千円

## 5 主要イベントスケジュール

### 〈3月〉

- ・家康公四百年祭“浜松部会”イメージキャラクター発表（広聴広報課）

家康公のイメージを浜松時代の勇猛果敢な若き大将へと転換するため、家康公のイメージキャラクターに有名芸能人を起用し、記念事業をPR

### 〈4月〉

- ・家康公四百年祭「中間セレモニー」（広聴広報課）

4月25日（土） 場所：浜松城公園

若き日の家康公を三方ヶ原の戦いをもとに顕彰。家康楽市 春の陣と同時開催

- ・家康楽市 春の陣（広聴広報課）

4月25日（土）・4月26日（日） 場所：浜松城公園

家康公も食した浜松産こだわりメニューとゆかりの地の食がコラボした“浜松パワーフード”が勢ぞろい

### 〈7月〉

- ・シンポジウム「徳川家と武田家」～三方ヶ原の戦いから赤備えへ～（広聴広報課）

7月1日（水） 場所：アクトシティ浜松大ホール

市制記念式典とのコラボレーション事業として実施する、静岡文化芸術大学の磯田道史教授と徳川・武田両家当主によるパネルディスカッション

### 〈8月〉

- ・「甦る！若き日の家康公展」（広聴広報課）

8月1日（土）～8月31日（月） 場所：浜松城

浜松時代の若き日の勇猛果敢な家康公を再現した等身大3D像や立体しかみ像をはじめ、既に公開されている三方ヶ原の戦いジオラマを一堂に集め展示

- ・家康公関連遺跡（城跡）一部発掘調査（広聴広報課）

家康公と秀吉公のゆかりを探るため、秀吉公が奉公したと伝わる松下屋敷跡（別名・頭陀寺城跡）を発掘調査

### 〈9月〉

- ・第3回「家康公検定」（広聴広報課）事業費 975千円

9月13日（日） 場所：会場未定

合格者には合格証や合格バッジの授与のほか、各種特典を付与

## 〈10月〉

- ・「出世の街浜松 家康公祭り」(観光交流課) 事業費 13,800 千円 (国交付金により先行実施・2月)  
(詳細は90ページ参照)

10月24日(土)・10月25日(日) 場所:浜松城公園

浜松徳川武将隊の太鼓演舞、出世の街浜松パフォーマンスアート、三方ヶ原合戦絵巻、イメージキャラクターによる武者行列などを実施。家康楽市 秋の陣と同時開催

- ・家康楽市 秋の陣 (広聴広報課)

10月24日(土)・10月25日(日) 場所:浜松城公園

出世の力を持つ“浜松パワーフード”が勢ぞろい

- ・家康の散歩道ウォーク (観光交流課) 事業費 994 千円 (国交付金により先行実施・2月)

(詳細は90ページ参照)

10月～12月 場所:浜松市内

浜松に残る家康公ゆかりの地をスマホアプリがご案内

## 〈11月〉

- ・ゆるキャラ®グランプリ in 出世の街 浜松 (広聴広報課) 事業費 57,000 千円

(詳細は6ページ参照)

11月21日(土)～11月23日(月・祝) 場所:渚園

ゆるキャラ®の日本一を決定する最大の祭典を浜松で開催

## 〈12月〉

- ・家康サミット三都物語～浜松編～「発掘が語る家康の軌跡」(文化財課) 事業費 153 千円

家康公が築いた城や城下町について考えるセミナーの開催

- ・特別展「徳川家康 天下取りへの道」(博物館) 事業費 9,494 千円

10月31日(土)～12月6日(日) 場所:博物館

家康公と遠江の国衆(在地領主)を題材とした特別展及び特別展講演会の開催

※徳川家康公顕彰四百年記念事業以外で予算計上を行う事業については、事業費を記載

# ゆるキャラ®グランプリ開催事業

企画調整部広聴広報課

## 1 目的

全国のご当地キャラクターに代表される「ゆるキャラ®」の人気投票を行い、日本一を決定する祭典である「ゆるキャラ®グランプリ」について、徳川家康公顕彰四百年記念事業の一つとして位置付け、浜松市で開催する。

全国から数万人の来場者が見込まれる「ゆるキャラ®グランプリ」において、本市の特長が凝縮されたマスコットキャラクター「出世大名家康くん」を最大限に活用し、「出世の街 浜松」を来場者やマスメディアを通じて全国に発信する。

## 2 背景

- ・平成 25 年度には「出世大名家康くん」が「ゆるキャラ®グランプリ 2013」で準グランプリを獲得。出家や復活等の話題を提供し、全国での認知度・共感度向上に成功した
- ・「ゆるキャラ®グランプリ」は平成 22 年度から毎年度開催されており、平成 27 年度の開催地は公募の結果、浜松市での開催が決定した

## 3 事業内容

名 称：ゆるキャラ®グランプリ 2015 in 出世の街 浜松

日 程：平成 27 年 11 月 21 日～23 日（3 日間）

会 場：渚園（西区舞阪町弁天島）

開催形態：浜松市が中心となって組織する製作委員会において、企画・運営、広報、会場設営・撤去など、表彰式イベントに係る業務を実施。また、「ゆるキャラ®グランプリ」のエントリー・投票等に係る業務を実施する「ゆるキャラ®グランプリ実行委員会」とも連携・協力して開催していく。

## 4 事業費 57,000 千円

- ・負担金補助及び交付金 50,000 千円（製作委員会に対する負担金）
- ・使用料及び賃借料 7,000 千円（渚園会場使用料 8 日分）

# 施設解体事業

財務部資産経営課

## 1 目的

保有資産の総量縮減のため、次の観点から解体施設を整理し、優先順位の高いものから順次解体を進める。

- ①土地の売却可能性が高い施設
- ②借地を返還することができる施設
- ③廃止施設で解体の緊急性が高い施設

## 2 背景

- ・平成17年の12市町村による合併や平成19年の政令指定都市移行に伴う区役所設置などにより、平成25年度末に市が保有する建物延床面積は、合併前の旧浜松市（平成16年度末）と比較すると、約1.6倍に増加した
- ・本市が保有する財産の見直しや処分・活用、運営管理などに関する取組みを資産経営と位置付け、主に施設評価や公共施設の再配置により廃止した施設を中心に、施設の解体を実施し、保有財産の縮減に取り組んでいる

## 3 事業内容

旧舞阪文化センター、教育センターの解体など

## 4 事業費 300,000千円（財源：繰入金 300,000千円）

※資産運用・企画事業 332,966千円の一部

- ・工事請負費 280,000千円（解体工事費）
- ・委託料 20,000千円（設計・工事監理委託等）

## ※ 参考

解体にあたって有害物質調査や土壌汚染調査など、専門知識が必要な清掃施設などの解体経費は別途各課で計上

北部清掃工場、南清掃事業所ペットボトル減容施設の解体など

事業費 259,297千円（解体工事費、設計・工事監理委託等）

- ・解体事業費合計 559,297千円・・・①

施設解体のほか遊休資産の売却、借地解消の取り組み

- ・遊休財産の売却 13,726千円・・・②（公有財産売却業務委託）
- ・借地解消 1,018,131千円・・・③（舘山寺総合公園などの借地解消）

遊休資産の解体・売却・借地の解消の合計（①+②+③）1,591,154千円

# 「創造都市・浜松」の推進

企画調整部企画課

## 1 目的

市民の創造的な活動の活性化を図り、新たな価値や産業が生まれる創造都市を目指すもの。

## 2 これまでの取組

- ・「創造都市・浜松」推進のための基本方針の策定（平成 24 年度）
- ・浜松市創造都市推進会議の設置（平成 26 年 4 月）
- ・浜松市創造都市推進会議に音楽専門部会を設置（平成 26 年 7 月）
- ・ユネスコ創造都市ネットワーク（音楽分野）への加盟（平成 26 年 12 月）
- ・創造都市推進アクションプログラムの策定（平成 27 年 3 月予定）  
（事業計画の策定及び進捗管理を実施）

## 3 主な事業内容

アクションプログラムに基づき、下記のプロジェクトを実施

- (1) 新たな発想を喚起する創造空間の演出 898,135 千円  
創造性を高めるイベントの実施やアーティスト・クリエイターが活動しやすい環境づくり  
①まちなかアート整備事業（企画課） 10,500 千円（国交付金により先行実施・2月）  
（詳細は 11 ページ参照）  
バスターミナル地下へのメディアアートの展示に必要なアートカウンター、  
ディスプレイ、プロジェクターなどの機材の設置  
②アクトシティ浜松管理運営事業（文化政策課） 864,060 千円  
③浜松市鴨江アートセンター管理運営事業（文化政策課） 18,575 千円  
④都心の遊休不動産利活用促進事業（産業振興課） 5,000 千円  
（国交付金により先行実施・2月）（詳細は 82 ページ参照）  
官民の連携による空きビル、空き室、空き地等の遊休不動産の利活用にかかるリノベーションスクールの開催等
- (2) 創造性あふれる市民活動の促進 53,526 千円  
活動の機会・場の提供や創造都市を支えるサポーターの育成など  
①浜松市創造都市推進会議（企画課） 2,700 千円  
中間支援組織・アーツカウンシル等の検討 など  
②みんなのはままつ創造プロジェクト（企画課） 50,826 千円（詳細は 10 ページ参照）  
市民活動団体、企業等が企画・実施する創造的な取り組みへの支援
- (3) 魅力ある地域資源の活用 141,406 千円  
ものづくり、音楽など浜松の特色を活かしたまちづくり

- ①浜松国際ピアノコンクール開催事業（文化政策課） 137,826 千円（詳細は 27 ページ参照）  
第 9 回浜松国際ピアノコンクールの開催
- ②無形民俗文化財活性化事業（文化財課） 3,580 千円（詳細は 37 ページ参照）  
浜松市内に伝承されている無形民俗文化財にかかる活動支援 など  
（H27 臨時）無形民俗文化財プロモーション映像作成 2,500 千円  
市内の指定無形民俗文化財を国内外に紹介するための動画作成
- （4）「浜松のものづくり」を原点とした創造産業の創出 160,527 千円  
起業支援、中小企業とのマッチングなど
- ①成長産業創出支援事業（産業振興課） 151,527 千円（国交付金により先行実施・2 月）  
（詳細は 83 ページ参照）  
成長 6 分野における革新的な技術・製品の事業化に対する補助金等
- ②浜松楽器フェア開催支援事業（産業振興課） 9,000 千円（詳細は 87 ページ参照）  
創造都市ネットワーク加盟を契機に、楽器産業の振興を目的とした「(仮称) 浜松楽器  
フェア」の開催（世界創造都市フォーラム in 浜松 2015 期間中）
- （5）創造都市ネットワークを軸とした発信・交流・連携 53,215 千円  
国内外における発信強化と交流促進
- ①ボローニャ市との音楽文化都市交流（文化政策課） 900 千円（詳細は 28 ページ参照）  
ボローニャ市との覚書に基づく音楽等に携わる専門人材の相互交流  
音楽教員等で構成される使節団を派遣し、公教育の学習現場等を視察
- ②世界創造都市フォーラム in 浜松 2015 の開催（文化政策課）  
20,000 千円（詳細は 26 ページ参照）  
音楽を通じた文化的多様性に関する国際会議の開催
- ③世界音楽の祭典 in 浜松 2016 のイベント実施（文化政策課）  
2,000 千円（詳細は 26 ページ参照）  
H28 に開催予定の世界音楽の祭典 in 浜松 2016 の周知を目的としたイベント  
の実施（世界創造都市フォーラムの開催期間中）
- ④インバウンド推進事業（観光交流課） 30,315 千円（国交付金により先行実施・2 月）  
（詳細は 91 ページ参照）  
瀋陽市、杭州市、台北市などの観光分野の友好都市等や、東アジア及びアセアン地域  
をターゲットとしたセールス事業、受入環境整備支援等
- （6）創造都市推進事業（企画課） 12,867 千円  
創造都市推進にかかる事務経費
- ・他都市との連携  
ユネスコ創造都市ネットワーク総会等への参加、他都市における取組の調査研究
  - ・ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市負担金
  - ・浜松市創造都市推進会議【再掲】

# みんなのはままつ創造プロジェクト事業

企画調整部企画課

## 1 目的

浜松市総合計画に掲げた都市の将来像「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」の実現に向け、市民活動団体、企業等が企画・実施する創造的な取り組みを支援する。

平成 27 年度は補助制度の見直しを行うことでより効率的かつ効果的な支援につなげる。

## 2 背景

- 平成 23 年度に市制 100 周年事業として実施した「100 夢プロジェクト」を契機として、平成 24 年度からみんなのはままつ創造プロジェクトを開始した

平成 24 年度 提案件数：85 件、採択件数：37 件

平成 25 年度 提案件数：109 件、採択件数：39 件

平成 26 年度 提案件数：49 件、採択件数：25 件

- 現行の補助制度は、補助率 10/10、限度額 100 万円、1 度採択された事業は対象外としており、継続事業への支援や事業の規模に合わせた柔軟な支援金額の枠組みづくりが課題となっていた

## 3 事業内容

創造都市実現を目的とした、市民活動団体や民間企業等の主体的な取り組みに対し、必要な資金を助成する。

平成 27 年度から継続事業を補助対象に加えるとともに、新規事業の限度額を提案事業規模に応じ、50 万円と 100 万円の 2 部門とする見直しを実施。

〈制度概要〉

- 対象団体：市内に住所を有する、又は市内で活動する団体や企業
- 対象事業：創造都市・浜松の実現に資する事業
- 限度額・補助率等：

部門	対象	限度額	補助率
スタートアップ 50	新規事業	50 万円	10/10
スタートアップ 100	新規事業	100 万円	10/10
ステップアップ	継続事業	100 万円	1/2

## 4 事業費 50,826 千円

- 負担金補助及び交付金 50,000 千円（みんなのはままつ創造プロジェクト補助金）
- 報償費 417 千円（審査委員兼アドバイザー謝礼）
- その他 409 千円（事業紹介リーフレット印刷費等）

# まちなかアート整備事業

企画調整部企画課

## 1 目的

テーマを持ったアート空間をまちなかに整備することで、市民の創造性を喚起し、創造都市のまちづくりの土台をつくとともに、まちなかの魅力を創出する。

平成 27 年度は、まちなかへの出発点となるバスターミナル地下道へアート空間の環境整備を実施する。

## 2 背景

- ・まちなかの賑わい創出は、市民の関心がある課題の一つであり、文化面での必要な環境整備を行うことで、民間主導の取組みを補完するため、まちなかアート整備事業を平成 26 年度に開始
- ・平成 27 年 3 月に基本構想・事業計画の策定及びバスターミナル地下のアートギャラリー試験事業を実施予定

## 3 事業内容

機材を設置すれば随時作品の更新が可能となることやイベントでの活用などを考慮して、メディアアートを中心とした整備を行う。

(メディアアートとは、デジタル映像や音響を組み合わせた表現や、鑑賞者が触れたりすることで作品自体が変化する双方向の表現などの情報技術に触発された新しい芸術)

(1) 場 所 バスターミナル地下 (右図参照)

(2) 整備内容

アートギャラリー等の整備

(メディアアートの展示に必要なアートカウンター、ディスプレイ、プロジェクターなどの機材を自動販売機スペース等に設置)

(3) 管理運営

メディアアートの作品展示や設備の維持管理のほか、作品展示にかかる企画・調整やワークショップなどの開催を行う

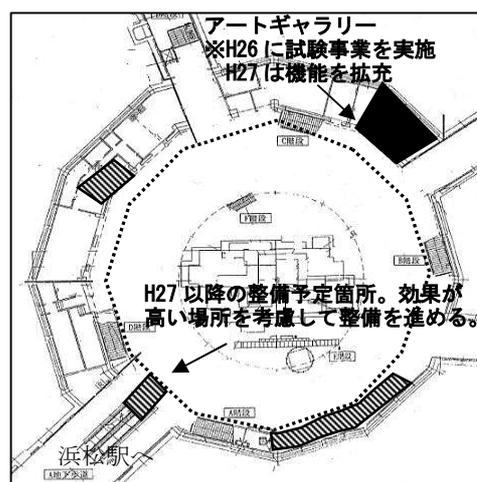


図 アートギャラリー整備予定箇所

4 事業費 10,500 千円 (財源: 国 5,250 千円) 平成 26 年度 2 月補正計上

※地域再生戦略交付金事業、繰越明許費

- ・委託料 10,500 千円

# サミット開催支援事業

企画調整部企画課

## 1 目的

2016（平成 28）年に開催する主要国首脳会議（サミット）について、静岡県及び静岡市との連携により、開催に関する支援を行う。

## 2 背景

- ・静岡県、静岡市、浜松市が連携・協力して、平成 28 年に日本で開催される主要国首脳会議（サミット）及び関係閣僚会合を、県内で開催すべく誘致に向けた取組を展開している
  - ・平成 26 年 8 月 29 日 外務省へ誘致計画案を提出
  - ・平成 26 年 10 月 16 日 2016 “ふじのくに” 静岡県サミット誘致推進会議設立
  - ・平成 26 年 10 月 21～23 日 外務省及び警察庁職員による開催候補地現地視察受入
  - ・平成 26 年 11 月 20 日 2016 “ふじのくに” 静岡県サミット誘致推進国会議員の会設立  
〈誘致する会議及び地域〉
    - 主要国首脳会議：浜松市（浜名湖を中心とするエリア）
    - 関係閣僚会合：静岡市（日本平を中心とするエリア）

## 3 事業内容

- 静岡県、静岡市、浜松市、関係団体等により開催地決定後に設置する「(仮称) 2016 “ふじのくに” 静岡県サミット推進協議会」への負担金
- ・協議会の活動 歓迎行事等の企画・検討、ボランティアの募集・養成、市民機運の醸成、関係者向け宿泊予約センター設置準備、交通規制対策の検討、情報発信 ほか
  - ・負担割合 静岡県 1/3、静岡市 1/3、浜松市 1/3

## 4 事業費 20,000 千円

- ・負担金補助及び交付金 20,000 千円

## ※ 参考

- ・主要国首脳会議（サミット）は、日、米、英、仏、独、伊、加、露の 8 か国の首脳及び欧州委員会の委員長が参加して毎年開催される
- ・平成 28 年の首脳会議の開催地は、正式には平成 27 年 6 月にドイツで開催されるサミットで発表される予定

# 総合教育会議の開催

企画調整部企画課

## 1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正（平成 27 年 4 月施行）に伴い、地方公共団体の長に義務付けられた総合教育会議を開催するとともに「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」を策定する。

## 2 事業内容

### (1) 総合教育会議開催 法第 1 条の 4

#### ① 構成員

市長及び教育委員 5 人 ※有識者の出席も求めることができる

#### ② 協議・調整事項

「大綱」の策定、教育・学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策内容、児童等の生命・身体等に被害が生じるなどの緊急の場合に講ずべき措置内容

#### ③ 開催回数 年 5 回（定例 4 回・臨時 1 回）

### (2) 「大綱」策定 法第 1 条の 3

#### ① 策定内容

第 3 次教育総合計画を含む、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の方針  
※5 年毎に改訂見込み

#### ② 策定期期 平成 27 年度上半期中（予定）

## 3 事業費 261 千円

### ※企画運営経費 11,361 千円の一部

- ・ 需用費 209 千円（資料作成消耗品購入費、「大綱」印刷費）
- ・ 報償費 28 千円（有識者出席謝礼）
- ・ 使用料及び賃借料 18 千円（資料作成コピー料）
- ・ 役務費 6 千円（開催通知・資料送付郵便料）

# 女性活躍支援事業

市民部ユニバーサル社会・男女共同参画推進課

## 1 目的

企業で働く女性、地域への貢献を考える女性、起業を目指す女性に対し、きっかけづくりや情報・ノウハウの提供などを目的とした講座・シンポジウム等を開催することで、職場や地域で活躍する女性を支援する。

## 2 背景

政府の成長戦略において、すべての女性が輝く社会の実現が国の最重要課題のうちのひとつとされ、あらゆる場面で女性が能力を発揮するための支援が求められている。

## 3 事業内容

企業で活躍、地域で活躍、起業で活躍を3つの柱とし、対象に合わせた5事業を実施する。

### (1) 企業で活躍

ア はままつ働く女性活躍応援ネットワーク 417 千円

市内の働く女性のネットワークを形成し、ネットワークの活動報告や参加企業の紹介などを市HPから情報発信することで、働く女性の連携を支援する。

イ (新規) はままつ女性活躍応援シンポジウム 2,230 千円

働く女性のキャリアアップ、ネットワークづくり支援を目的にした基調講演、パネルディスカッション、交流会の開催により働く女性を支援する。

ウ (新規) 働く先輩女性社員に聞く！就活前のプチサロン 172 千円

女子大生を対象として、働く女性社員との交流を通じて、女子大生に「働く」ことへの意識を高める場を提供する。

### (2) 地域で活躍

はままつ女性カレッジ 717 千円

将来的に地元で活躍できる人材の育成を目標とした第2期はままつ女性カレッジ(全12回の講座)を開催する。

### (3) 起業で活躍

(新規) 女性起業家育成事業 500 千円

実際に起業した女性によるパネルディスカッション(事例発表)などのプレセミナーを行うとともに、起業を考えている人のための養成講座(定員15人、全6回)を実施する。

## 4 事業費 4,036 千円

- ・報償費 2,715 千円 (女性活躍応援シンポジウム謝礼等)
- ・委託料 500 千円 (女性起業家育成事業養成講座委託)
- ・使用料及び賃借料 405 千円 (女性活躍応援シンポジウム会場借上等)
- ・需用費 240 千円 (ちらし、ポスター等)
- ・役務費 176 千円 (郵便料等)

# 番号制度対応・システム再構築事業

企画調整部情報政策課

## 1 目的・背景

平成29年7月の個人番号制度の国・地方公共団体等との情報連携開始に向け、共通基盤システムの整備や住民基本台帳・国民健康保険・税務システムなど各業務システムの再構築、機器の導入及びホストコンピュータにおける既存システムの改修を行う。

## 2 事業内容

### (1) 国の機関や他自治体との連携

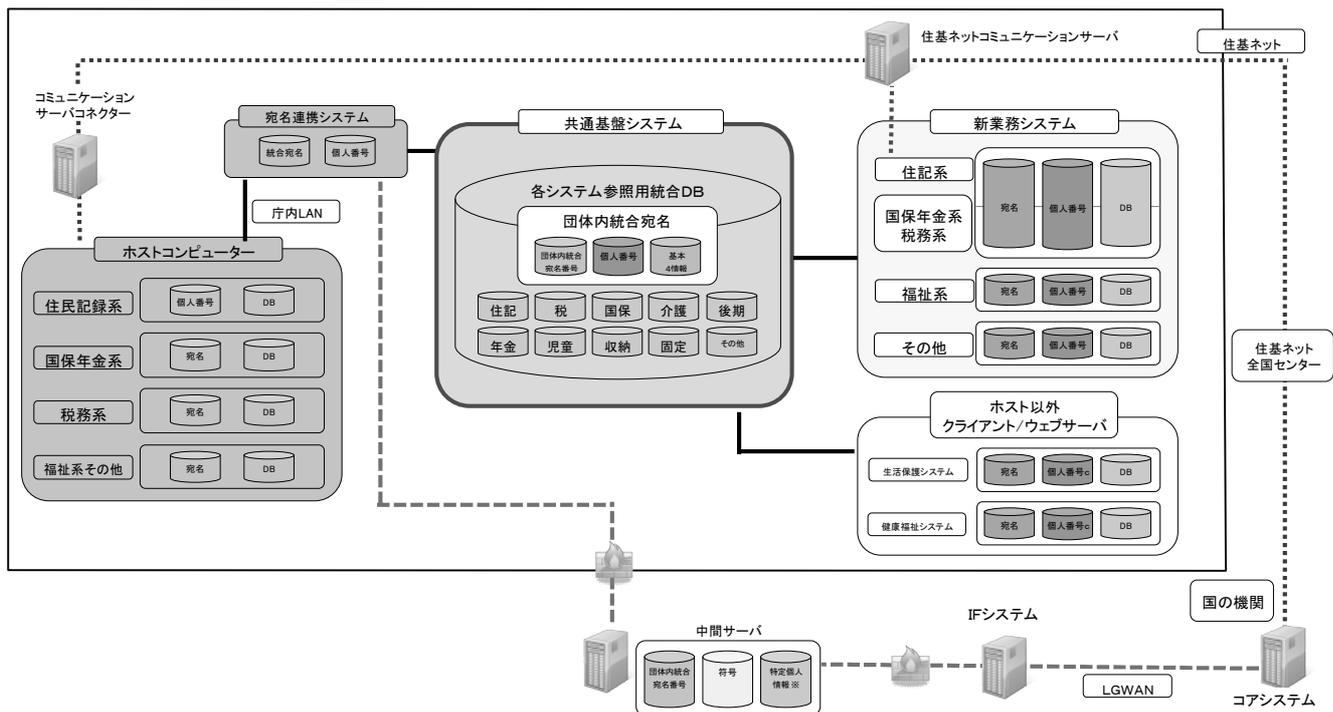
- ・共通基盤システムの構築、機器リース
- ・中間サーバと各種システムの連携にかかる構築業務、機器リース など

### (2) 庁内情報システムの再構築

- ・各業務システムの再構築

(住民基本台帳・税務・国民健康保険・国民年金・学齢簿・選挙・重度心身障害者医療費助成・障害福祉・児童福祉・こども・教育保育・保健総合管理・生活衛生管理・介護保険・後期高齢者医療保険の各業務システム)

システム関連図



## 3 事業費 2,976,059千円（一般会計、特別会計の合計）

- ・国の機関や他自治体との連携 340,982千円
- ・庁内情報システムの再構築 2,635,077千円

## 4 債務負担行為（一般会計、特別会計の合計）

- ・事項 番号制度対応・システム再構築事業費
- ・期間 平成27年度から平成33年度まで
- ・限度額 2,091,236千円

# 中山間地域振興費・市内間交流事業

市民部市民協働・地域政策課

## 1 目的

中山間地域の振興のため、中山間地域と都市部の交流の促進を図る。

## 2 背景

- ・中山間地域では高齢化や人口減少に伴う地域活力の低下が課題となっている
- ・国土縮図型都市と呼ばれ市域が広大な本市においては、市内の中山間地域と都市部の交流（市内間交流）の促進が重要課題となっている

## 3 主な事業内容

### (1) (新規) 子ども中山間地域交流事業 3,456 千円

- ・都市部の子どもと中山間地域の学校や住民との交流を交えた2泊3日程度の宿泊体験活動の実施
- ・受入中山間地域と、中山間地域との交流を希望する都市部の学校とのコーディネートを中山間地域のNPO法人等に委託

### (2) ザ・山フェス開催事業 4,093 千円

- ・「やま」と「まち」のコラボレーションによる山の魅力体験イベント「ザ・山フェス」を開催

### (3) 中山間地域交流ネットワーク事業 800 千円

- ・中山間地域、都市部の双方において、ボランティアを希望する団体、個人をマッチングし、草刈り、祭、農林作業、文化の伝承など地域の維持や活性化に係る活動を実施

### (4) (新規) 地域づくりインターンモデル事業 499 千円

- ・大学生が中山間地域に一定期間宿泊し、地域づくりに参加するモデル事業を実施

## 4 事業費 10,066 千円

- ・委託料 3,975 千円 (子ども中山間地域交流事業等)
- ・負担金補助及び交付金 3,000 千円 (ザ・山フェス開催事業負担金)
- ・その他 3,091 千円

# 中山間地域振興費・居住促進事業

市民部市民協働・地域政策課

## 1 目的

中山間地域の振興のため、都市部からの移住・定住の促進を図る。

## 2 背景

- ・中山間地域では高齢化や人口減少に伴う地域活力の低下が課題となっている
- ・居住促進のために、きめ細かな情報提供や地域の受け入れ体制の整備が必要となっている

## 3 主な事業内容

### (1) (新規) Welcome 集落事業 2,100 千円

- ・移住者の受け入れに必要な活動（空き家調査、移住希望者への集落情報の提供、移住後の生活サポート等）を行う集落等を Welcome 集落として登録
- ・移住者の受け入れが成立した段階で、移住者 1 名につき 100 千円の報償を Welcome 集落に支払う

### (2) 田舎暮らしお試し住宅事業 3,140 千円

- ・移住希望者が本格移住の前に短期間移住する住宅の維持管理経費
- ・お試し住宅は、天竜区熊地域 1 世帯、春野地域 3 世帯、佐久間地域 2 世帯、合計 6 世帯の入居が可能

### (3) 移住促進空き家活用事業 2,100 千円

- ・中山間地域の空き家に入居を希望する移住者及び空き家所有者に対し、住宅の改修等に必要経費の一部を助成
- ・空き家改修費補助 補助率 1/2、補助限度額 900 千円
- ・家財道具搬出処分費等補助 補助率 1/2、補助限度額 150 千円

## 4 事業費 18,811 千円

- ・負担金補助及び交付金 11,591 千円（田舎暮らしお試し住宅建設資金償還費、  
移住促進空き家活用事業 等）
- ・報償費 2,232 千円（Welcome 集落活動報償費等）
- ・その他 4,988 千円

# 中山間地域振興費・生活支援事業

市民部市民協働・地域政策課

## 1 目的

中山間地域の集落機能の維持、向上のため、外部人材の積極的な活用や地域の新たな産業創出の可能性の研究等を行い、地域の活性化を図る。

## 2 背景

- ・地方創生の動きが加速する中、総務省の「地域おこし協力隊」制度の拡充等、都市部人材の活用が強力に推し進められている
- ・中山間地域には雇用が少ないために若者の地元離れが続いており、地域力の維持、向上を担う人材の不足が大きな課題となっている

## 3 事業内容

### (1) 山里いきいき応援隊活動事業 30,703 千円

総務省の地域おこし協力隊制度等を活用し、平成 25 年度に創設した浜松山里いきいき応援隊について、天竜、春野、佐久間、水窪、龍山、引佐地域に各 1 名、合計 6 名配置している隊員を 12 名に増員する。

#### ○「浜松山里いきいき応援隊」制度

目的：都市部の若者が中山間地域に居住し、地域活性化や地域課題の解決を図る

活動内容：地域情報の発信、地域行事への参加・協力、農林作業等の補助等

活動期間：年度ごとに更新（最長 3 年間）

住居：市が用意（賃料、修繕費等を負担）

### (2) (新規) 中山間地域あらたな仕事づくり研究事業 7,500 千円

中山間地域における新たな産業の掘り起しを図るため、学識経験者等専門家を交えた中山間地域あらたな仕事づくり研究会を設置し、民が主体的に実施する、完全閉鎖型陸上養殖、有害獣の利活用など新たな産業の創出可能性を調査するとともに、実証実験を行う。

### (3) 原材料支給事業 6,000 千円

地域住民の集落道及び水源管理道の整備等に対し、生コンなど原材料を支給し、市民協働により舗装等を実施

### (4) 乗用モノレール整備等助成事業（補助金） 2,800 千円

自宅から公道までを結ぶ乗用モノレール等の整備に要する経費の一部を助成

補助率 1/2、補助限度額 1,400 千円

## 4 事業費 47,003 千円

- ・報償費 26,640 千円（浜松山里いきいき応援隊活動謝礼）
- ・委託料 7,770 千円（中山間地域あらたな仕事づくり研究事業等）
- ・原材料費 6,000 千円（原材料支給事業）
- ・負担金補助及び交付金 3,413 千円（乗用モノレール等整備事業費補助金等）
- ・その他 3,180 千円

# 中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業

市民部市民協働・地域政策課

## 1 目的

浜松市の中山間地域に移住してコミュニティビジネスを起業しようとする者に対し、起業資金を貸与し、移住及び起業を促進することにより、地域の振興を図る。

## 2 背景

- ・過疎化・高齢化が進む中山間地域で、コミュニティビジネスが求められている
- ・中山間地域への移住を希望していても、生活していくための職（収入）を得ることが困難な状況があり、移住希望者が移住に踏み切る際の障壁となっている

## 3 事業内容

### (1) 対象者

- ① 対象地域への移住希望者又は移住して3年未満の者、かつ専らコミュニティビジネス（（例）過疎地有償運送、移動販売、地域商品開発、高齢者支援、有害鳥獣肉利活用事業、着地型観光等）を3年以上行おうとしていること
- ② 浜松山里いきいき応援隊員に限り、その終了の日から1年未満までの者は、移住後3年を超える場合でも貸与が可能

### (2) 対象地域 中山間地域のうち都市計画区域を除く地域

### (3) 対象事業

- ① 対象地域における課題を解決する事業
- ② 対象地域の住民の生活環境の向上に資する事業
- ③ 対象地域の振興に資する事業であって地域資源を活用するもの

### (4) 対象経費 起業の初期投資費用（営業許可取得、店舗等改装費、設備・機器類購入費）

### (5) 貸付限度額 100万円（3年以上継続して事業を営んだ場合は返還を免除）

## 4 事業費 5,000千円

- ・貸付金 5,000千円（中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業）

※平成27年2月定例会へ中山間地域コミュニティビジネス等起業資金貸与条例の制定について提案



# 新エネルギー推進事業

新エネルギー推進事業本部

## 1 目的

再生可能エネルギー等の導入による多様な分散型電源の確保や、住宅・事業所・工場等建物ごと及びエリアごとのスマート化を推進し、浜松市エネルギービジョンに掲げる、浜松版スマートシティ（＝エネルギーに対する不安がない強靱で低炭素な社会）の実現を目指す。

## 2 事業内容

### (1) スマートシティビジネス講座開催事業 1,000千円

今後成長が期待されるスマートシティ関連技術によるビジネス創造を目的とした講座を開催する。

- ・地域企業を対象に年4回開催予定

### (2) 浜松市ソーラーセンター運営事業 3,000千円

市民・事業者等の太陽光発電設備設置にかかる総合的な事業化支援窓口である浜松市ソーラーセンターの運営を民間事業者に委託する。

### (3) 再生可能エネルギー活用支援事業（補助金） 3,000千円

再生可能エネルギーを活用した地域活性化事業や、太陽光発電以外の再生可能エネルギーによる発電事業の導入を促進するため、当該事業の導入可能性調査を支援する。

- ・補助対象：太陽光発電※、水力発電、風力発電、バイオマス発電、太陽熱利用、地中熱利用の導入可能性調査
- ・件数：3件程度
- ・補助率：1/3（上限1,000千円）

※太陽光発電の導入可能性調査については、地域貢献（農業・観光等）に伴う活用が条件

## 3 事業費 7,000千円（財源：国 7,000千円）平成26年度2月補正計上

※地域住民生活等緊急支援のための交付金（地方創生先行型）事業、繰越明許費

- ・負担金補助及び交付金 3,000千円（補助金）
- ・委託料 3,000千円（運営委託費）
- ・その他 1,000千円（講師謝礼等）

# スマートシティ推進事業

## 新エネルギー推進事業本部

### 1 目的

再生可能エネルギー等の導入による多様な分散型電源の確保や、住宅・事業所・工場等建物ごと及びエリアごとのスマート化を推進し、浜松市エネルギービジョンに掲げる、浜松版スマートシティ（＝エネルギーに対する不安がない強靱で低炭素な社会）の実現を目指す。

### 2 事業内容

(1) 浜松版スマートシティの実現 13,561千円

ア. (新規) 浜松版スマートシティ推進協議会運営事業 810千円

地域内外の有識者や、経済界、金融機関、行政が一体となった取り組みを推進するため、「浜松版スマートシティ推進協議会」を設置及び運営する。

イ. (新規) 浜松版スマートシティ実行計画策定事業 5,751千円

浜松版スマートシティの実現に向けた実行計画を策定するための基礎調査を実施。

#### ①実行計画

- ・目標年度：平成42年度（2030年度）
- ・計画内容：スマートシティ実現に向けたプロジェクト及びスケジュール など

#### ②基礎調査

- ・調査内容：エネルギー需給に係る地域特性の調査及び分析や、地域特性に合わせたスマートコミュニティの実現可能性など

ウ. (新規) スマートシティ推進・実証事業（補助金） 6,000千円

事業所や工場など、民間事業者へのEMS（エネルギーマネジメントシステム）の導入を支援する。

- ・補助対象及び件数：EMSの導入補助、2件程度

エ. スマートシティビジネス講座開催事業 1,000千円 平成26年度2月補正計上

※地域住民生活等緊急支援のための交付金（地方創生先行型）事業、繰越明許費

今後成長が期待されるスマートシティ関連技術によるビジネス創造を目的に、地域企業を対象とした講座を年4回開催予定

(2) 創エネ・省エネ・蓄エネ型住宅の推進 114,500千円

創エネ・省エネ・蓄エネ型住宅推進事業（補助金）

スマートハウスの設置を促進するため、以下の補助対象設備を設置する市民等に対し補助金を交付する。

補助対象	件数	限度額
太陽光発電システム（発電出力3kW以上）	2,500件	40千円
燃料電池コージェネレーションシステム	70件	100千円
ガスエンジン式コージェネレーションシステム	30件	50千円
蓄電池（1kWhあたり20千円、上限100千円）	50件	100千円
高性能HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）	100件	10千円

(3) その他 7,416千円

- ・旅費、印刷製本費等

3 事業費 135,477千円（財源：国 1,000千円、繰入金 10,258千円）

2月補正 1,000千円

当初 134,477千円

- ・負担金補助及び交付金 120,500千円（補助金）
- ・委託料 6,000千円（浜松版スマートシティ実行計画策定基礎調査等）
- ・その他 8,977千円（旅費、需用費等）

※（新規）新電力会社への出資

再生可能エネルギーの地産地消などを目的とした官民連携による新電力会社へ出資

- ・新電力会社は、太陽光発電など市内の再生可能エネルギー電源から調達し、クリーンで安価な電力を市民や企業、公共施設に供給する。

事業費 5,000千円

- ・投資及び出資金 5,000千円（出資金）

# 浜北区役所移転整備事業

浜北区区振興課

## 1 目的

現庁舎の老朽化が進む浜北区役所を遠州鉄道浜北駅前の公共施設「なゆた・浜北」に移転し、公共施設の集約・有効利用を図るとともに、利用者の利便性の向上及び副都心としての地域の活性化を図る。

## 2 背景

- ・浜北区役所庁舎は、最も新しい北館でも築 40 年以上と老朽化が進むとともに、増築を重ねたため段差が多く、災害時の拠点としての機能も他の区役所と比べ著しく劣っている
- ・なゆた・浜北は、遠州鉄道浜北駅前という良好な立地にあり一層の活用が求められている

## 3 事業内容

- (1) 来客用駐車場整備  
用地取得費、設計費及び舗装工事
- (2) なゆた・浜北施設改修  
設計費
- (3) なゆた・浜北生涯学習施設廃止に伴う代替施設整備  
旧浜北勤労青少年ホーム改修設計費

## 4 事業計画

- 平成 26 年度 来客用駐車場用地の測量及び交渉  
平成 27 年 4 月～ 駐車場整備（用地取得、舗装工事等）、改修設計  
平成 28 年 4 月～ なゆた・浜北等改修工事  
平成 28 年 10 月 区役所業務開始予定

## 5 事業費 265,633 千円

- ・公有財産購入費 214,451 千円（駐車場用地取得費）
- ・委託料 25,696 千円（設計費）
- ・工事請負費 25,000 千円（駐車場整備工事）
- ・役務費 486 千円（不動産登記、用途変更等の計画通知手数料）

# 音楽文化の国内外への発信

## 1 目的

アジアで初めてのユネスコ創造都市ネットワーク（音楽分野）加盟都市として、音楽文化の発信による文化的多様性を実現するもの。

## 2 背景

平成 26 年 12 月 1 日 ユネスコ創造都市ネットワーク（音楽分野）加盟認定

## 3 事業費 1,333,191 千円

ユネスコ創造都市ネットワーク加盟申請書に掲載された音楽にかかる「創造性に関する資源や取り組み」について、平成 27 年度は以下の事業を実施。

- (1) オール浜松での推進（創造都市推進会議） 2,700 千円（企画課）
  - ・音楽にかかる具体的な事業を企画する創造都市推進会議音楽専門部会の開催等
- (2) 音楽イベント等の開催 239,082 千円
  - ・浜松国際ピアノコンクールの開催 137,826 千円（詳細は 27 ページ参照）
  - ・世界創造都市フォーラム、世界音楽の祭典プレイベントの開催  
22,000 千円（詳細は 26 ページ参照）
  - ・その他音楽イベント等の開催 79,256 千円（詳細は 29 ページ参照）
- (3) 音楽に関する人材育成 97,263 千円（文化政策課）
  - ・浜松国際ピアノアカデミーの開催 世界で活躍できるピアニストの育成
  - ・アクトシティ音楽院の開催 一般市民が気軽に参加できる講座の開催 など
  - ・青少年音楽団体の育成 ジュニアオーケストラ浜松、ジュニアクワイア浜松 など
- (4) 音楽交流事業の実施 4,400 千円
  - ・音楽文化都市交流事業（詳細は 28 ページ参照）
- (5) 音楽関連産業の発信 9,000 千円
  - ・「(仮称) 浜松楽器フェア」の開催（詳細は 87 ページ参照）
- (6) 音楽文化の発信 2,500 千円
  - ・無形民俗文化財プロモーション映像の作成（詳細は 37 ページ参照）
- (7) 音楽文化発信拠点の活用 978,246 千円（文化政策課）
  - ・アクトシティ浜松、浜松市楽器博物館の管理運営
  - ・楽器博物館展示設備等改修（詳細は 30 ページ参照）
  - ・楽器博物館 HP の充実 英語ページの拡充、楽器紹介ページの追加

# ユネスコ創造都市ネットワーク（音楽分野）推進事業

市民部文化政策課

## 1 目的

ユネスコ創造都市ネットワーク（音楽分野）加盟都市として、浜松の音楽文化の国内外への情報発信等を行うもの。

## 2 背景

・平成 26 年 12 月 1 日 ユネスコ創造都市ネットワーク（音楽分野）加盟認定

## 3 事業内容・事業費

(1) 世界創造都市フォーラム in 浜松 2015 の開催 20,000 千円

ユネスコ創造都市ネットワーク（音楽分野）への加盟を国内外に向けてPRすることを目的に音楽を通じた文化的多様性に関する国際会議を開催

- ・開催期間 平成 27 年 12 月 4 日（金）から 12 月 6 日（日）
- ・会場 アクトシティ浜松コンgresセンター など
- ・内容

音楽に関する基調講演

ユネスコ創造都市ネットワーク（音楽分野）加盟都市の実践事例報告

パネルディスカッション

第 9 回浜松国際ピアノコンクール（平成 27 年 11 月 21 日～12 月 8 日開催）との連携（ピアニストとの交流プログラムの実施）

「(仮称) 浜松楽器フェア」を同時開催することによる楽器産業の振興と活性化を推進（産業部）

(2) 世界音楽の祭典 in 浜松 2016 のイベント実施 2,000 千円

平成 28 年度に世界音楽をキーワードに多文化共生と音楽を融合した音楽祭を開催するにあたり、開催準備、イベントを実施

- ・開催期間 平成 27 年 12 月 4 日（金）から 5 日（土）  
世界創造都市フォーラム in 浜松 2015 開催期間中に実施
- ・会場 楽器博物館、市内コンサートホール など
- ・内容

浜松の伝統芸能や伝統音楽などの実演

楽器博物館にて収蔵する民族楽器を活用したコンサート など

## 4 事業費 22,000 千円

・負担金補助及び交付金 22,000 千円

# 浜松国際ピアノコンクール開催事業

市民部文化政策課

## 1 目的

世界の優秀な若いピアニストの発掘、育成を図るとともに、市民への質の高い音楽を提供しながら「音楽の都・浜松」を発信することを目的とし、浜松国際ピアノコンクールを開催するもの。

## 2 背景

- ・平成3年から3年に1度開催。平成27年度は第9回。
- ・直近3大会の実績

区分	総事業費 (千円)	優勝者等
第6回大会 (平成16年度～平成18年度)	245,012	出場者73名 優勝者アレクセイ・ゴルラッチ
第7回大会 (平成19年度～平成21年度)	228,823	出場者85名 優勝者チョ・ソンジン
第8回大会 (平成22年度～平成24年度)	229,059	出場者73名 優勝者イリヤ・ラシュコフスキー

## 3 事業内容

- ・第9回コンクールの開催

開催期間 平成27年11月21日(土)から12月8日(火)

オープニングコンサート 11月21日(土)

予選(1次～3次) 11月22日(日)から12月2日(水)

本選 12月5日(土)から6日(日)

入賞者披露コンサート 12月7日(月)(浜松)、12月8日(火)(東京)

- ・コンクール開催前、開催期間中にイベント実施
- ・実行委員会、運営委員会の開催 など

## 4 事業費 137,826千円

- ・負担金補助及び交付金 137,826千円



# 音楽文化都市交流事業

市民部文化政策課

## 1 目的

互いの音楽文化を尊重しつつ、音楽に関する人材交流、国内外への情報発信の連携等を通じて音楽文化を振興するもの。

## 2 背景

・札幌市 平成 21 年度

音楽文化都市交流宣言、青少年の音楽団体による相互訪問、交流等を実施

・宝塚市 平成 26 年度～

すみれ交流で培った両市の絆を基に、音楽文化交流を通じた市民間交流の推進

・ボローニャ市 平成 26 年 4 月 23 日 音楽文化交流の覚書締結

## 3 事業内容・事業費

(1) ボローニャ市との音楽文化都市交流事業 900 千円 (負担金)

ボローニャ市との覚書に基づく音楽に携わる専門人材の相互交流

・音楽教員等で構成される使節団を派遣し、公教育の学習現場の視察などを実施

(2) 札幌市・宝塚市との音楽文化都市交流事業 3,500 千円 (負担金)

・札幌市

両市の青少年音楽団体の相互訪問による交流

・宝塚市

すみれ植栽交流、宝塚歌劇団との交流及び青少年等による音楽文化交流

## 4 事業費 4,400 千円

・負担金補助及び交付金 4,400 千円

# 音楽イベントの開催

市民部文化政策課

## 1 目的

音楽イベントの開催を通して、「音楽の都・浜松」を実現するもの。

## 2 イベント一覧 79,256 千円

- (1) 浜松吹奏楽大会開催事業 14,500 千円（平成 28 年 3 月 20 日～3 月 22 日開催予定）  
全日本高等学校選抜吹奏楽大会及び全国中学生交流コンサートの開催
- (2) 静岡県民オペラ開催事業 2,000 千円（平成 28 年 2 月 14 日開催予定）  
第 5 回静岡県民オペラの開催（H26 に開催した静岡国際オペラコンクール関連イベント）
- (3) 県民合唱祭開催事業 500 千円（平成 27 年 6 月 14 日開催予定）  
浜松市及び県西部を中心に県内 50 団体程度による合唱祭の開催
- (4) まちなかコンサート開催事業 15,706 千円  
ギターを中心とした屋外吹奏楽コンサート（4 月～10 月開催予定） など
- (5) 市民オペラ開催事業 16,000 千円（平成 27 年 8 月 30 日開催予定）  
一般公募した市民が参加する第 7 回浜松市民オペラの開催。演目「ブラックジャック」
- (6) 企業と共催する音楽事業 8,500 千円  
企業との共催による多様なジャンルのコンサートの開催
  - ・ハママツ・ジャズ・ウィーク 6,100 千円（平成 27 年 10 月 18 日～10 月 26 日開催予定）  
企業との共催によるジャズイベント  
（臨時）守屋純子氏が制作する徳川家康をテーマとしたジャズ組曲の披露  
（徳川家康公顕彰四百年記念事業）
  - ・プラタナスコンサート 1,600 千円（平成 27 年 8 月 15 日開催予定）  
プラタナスの木をテーマとした、戦争の悲惨さを後世に語り継ぐコンサートの開催
  - ・第 58 回中部日本吹奏楽コンクール 800 千円（平成 27 年 10 月 10 日～10 月 11 日開催予定）  
中部地区 9 県の各地区大会にて最優秀に選ばれた吹奏楽団体が出場
- (7) アクトシティオルガンミニコンサート開催事業 2,700 千円  
アクトシティ浜松中ホールのオルガンを使用したミニコンサート（年 5 回程度開催）
- (8) 浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル 9,600 千円（平成 27 年 8 月開催予定）  
世界を代表する演奏家によるレッスン及びコンサートの開催 など
- (9) バークリー音楽学院コンサート開催事業 700 千円（平成 28 年 2 月中旬開催予定）  
バークリー音楽学院の講師等による市民公開コンサートの開催
- (10) こども音楽鑑賞教室開催事業 9,050 千円（平成 28 年 2 月開催予定）  
小学 5 年生を対象としたプロのオーケストラの演奏の鑑賞機会の提供

# 楽器博物館展示設備等改修事業

市民部文化政策課

## 1 目的

ユネスコ創造都市ネットワーク（音楽分野）加盟都市として、浜松の音楽文化を国内外に発信するにあたり、浜松市楽器博物館の展示物の更新を行うことにより、発信力の向上と来館者数の増加を図るもの。

## 2 背景

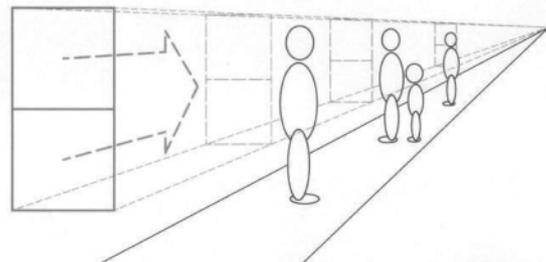
- ・平成7年度 開館
- ・館内展示設備が劣化により故障多発

## 3 事業内容

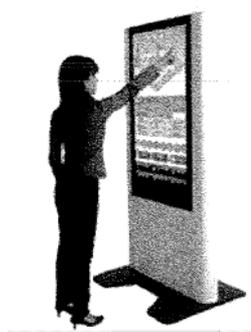
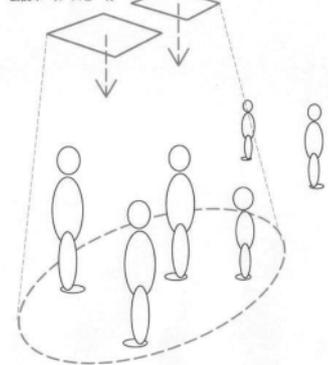
- ・展示楽器紹介設備の更新  
ヘッドフォンシステムからスピーカーによる視聴システムへの更新 など
- ・館内情報端末の設置  
多言語解説による展示楽器に関する紹介映像等を流すタッチパネルモニター設置 など
- ・音響映像管理システムの更新  
館内に流れる映像や音響を管理する端末等の更新

(イメージ)

音の散歩道スピーカー



五國ホール スピーカ



- ・工事実施時期  
平成27年度にアクトシティ浜松にて実施される浜松国際ピアノコンクール等の大型イベント終了後、工事着手し、年度内に工事完了予定

## 4 事業費 52,000 千円

※文化施設整備事業 657,798 千円の一部

- ・工事請負費 48,000 千円
- ・委託料 4,000 千円 (設計、工事監理業務)

# スポーツボランティアバンク運営事業

市民部スポーツ振興課

## 1 目的

ラグビーワールドカップ 2019 や 2020 年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に向けた受け入れ体制の確立及びスポーツ支援施策の推進を図るもの。

## 2 事業内容

### (1) 大型スポーツイベントに向けた支援体制の整備

大規模なボランティア人材の確保が必要となる大型イベントの事前合宿誘致に向けた人材の確保及び育成

### (2) 体制整備スケジュール

- ・ 毎年 50 人程度の人材を確保
- ・ 研修機会の提供（浜松シティマラソンなど市内スポーツイベント）
- ・ 平成 31 年度 ラグビーワールドカップ 2019 開催
- ・ 平成 32 年度 東京オリンピック・パラリンピック開催

### (3) 業務内容

- ・ インターネット及びチラシの配布などを通して広く人材を募集
- ・ 応募者の情報を収集し、名簿化して管理（氏名・年齢・性別・住所・連絡先）
- ・ 一斉メール配信ソフトを活用し、名簿登録した方へボランティア機会の情報を提供

## 3 事業費 600 千円

※スポーツ普及・活性化事業 8,260 千円の一部

- ・ 委託料 600 千円（ボランティアデータ管理、広告チラシ作成等）

### (参考) 大型スポーツイベント等誘致事業

- ・ ラグビーワールドカップ 2015 視察及び 2019 にかかると事前合宿誘致活動  
平成 27 年 9 月から 10 月 イングランド
- ・ ラグビーワールドカップ 2019 幹事会、東京オリンピック等組織委員会など国内調整
- ・ 事業費 2,370 千円（旅費）

※スポーツ普及・活性化事業 8,260 千円の一部

# 防災用避難施設機能を有するスポーツ施設整備事業

市民部スポーツ振興課

## 1 目的

遠州灘海浜公園（篠原地区）における緊急避難場所、救急・救援ヘリポート基地等の防災用避難施設機能を有するスポーツ施設について、県と連携して整備するもの。

## 2 経緯

・平成 26 年 8 月 26 日 静岡県知事あて要望書提出

「遠州灘海浜公園（篠原地区）及び四ツ池公園の整備について」

## 3 事業内容

・県が実施する基本構想、基本計画の策定費に対する負担金

公園の基本的な方向性検討

整備概要検討、施設規模検討

防災施設の機能・利活用検討

各施設のゾーニング検討

規模、位置の確定

整備手法及び概算工事費の検討

## 4 事業費 3,000 千円

・負担金補助及び交付金 3,000 千円

全体事業費 30,000 千円

静岡県 27,000 千円（90%）

浜松市 3,000 千円（10%）

# 浜北体育館改築事業

市民部スポーツ振興課

## 1 目的

現施設の耐震性の低さへの対応及び利用者の身近な体育施設の確保。

## 2 事業内容

### (1) 施設概要

- ・場所 改築（現在地）
- ・構造 鉄筋コンクリート造
- ・規模 延床面積 1,297.9 m<sup>2</sup>
  - アリーナ面積 936 m<sup>2</sup>（バスケットボールコート2面程度）
  - 軽スポーツ室 75 m<sup>2</sup>（ヨガ・ダンスなど軽スポーツや会議など多目的利用）

### (2) スケジュール

- |          |                        |
|----------|------------------------|
| 平成26年度   | 基本計画、地質調査、実施設計         |
| 平成27年度   | 既存施設解体、改築工事（1年7か月休館予定） |
| 平成28年度   | 改築工事、外構整備              |
| 平成28年11月 | 供用開始予定                 |

## 3 事業費 99,744 千円

※スポーツ施設整備事業 516,842 千円の一部

- ・工事請負費 95,454 千円 解体工事、改築工事
- ・委託料 4,290 千円 工事監理業務（解体工事、改築工事）、残置物処分業務

## 4 債務負担行為

- ・事項 浜北体育館改築事業費
- ・期間 平成27年度から平成28年度まで
- ・限度額 403,991 千円（平成28年度：403,991 千円）

# 科学館へのノーベル物理学賞受賞記念展示物の設置

市民部生涯学習課

## 1 目的

本市出身として初めてノーベル賞を受賞した天野氏の偉業を広く市民に知らせ、その研究の功績と青色発光ダイオードが世界の人々に与えた恩恵と可能性を紹介するもの。

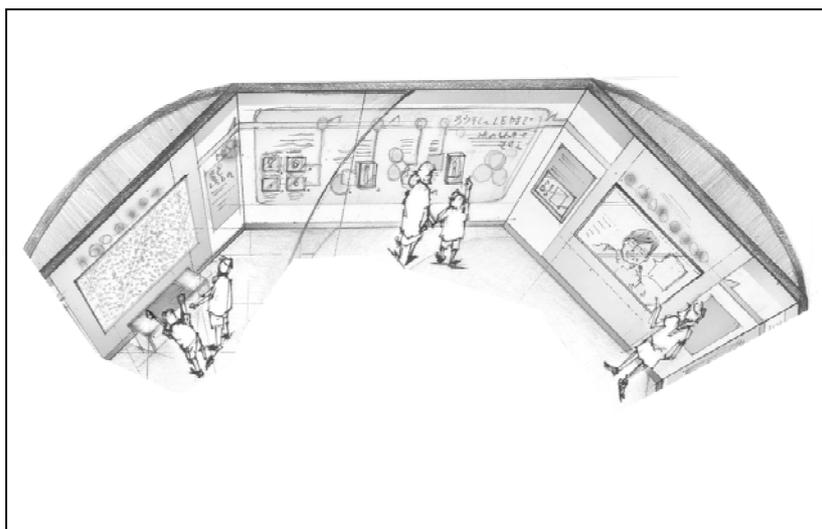
## 2 背景

- ・平成 26 年 12 月 10 日 青色発光ダイオードの開発を行った浜松市出身の天野浩名古屋大学大学院教授にノーベル物理学賞が授与された

## 3 事業内容

- ・天野氏の紹介、業績の展示
- ・LEDの利点・利用例等の展示

(イメージ)



## 4 事業費 15,000 千円

※科学館運営事業 192,086 千円の一部

- ・委託料 15,000 千円 (展示物の設計・制作業務)

# 教育文化会館検証事業

市民部生涯学習課

## 1 背景

- ・ 休館後、代替施設（アクトシティ浜松等）の利用状況、改修整備する施設の利用実態等を検証した上での廃止、建替え、新設も含めて検討
- ・ 代替施設の利用団体に対する負担軽減措置の実施

## 2 事業内容

### (1) 検討会の設置 255 千円

教育文化会館のあり方について廃止、建替え、新設を含めて議論する検討会の設置  
メンバー 10 名前後を予定

### (2) 代替施設利用団体に対する負担軽減措置 8,268 千円

対象施設：アクトシティ浜松大ホール、中ホール

軽減条件：所在地が市内である学校教育法第 1 条に規定する学校（幼・小・中・高・大学等）  
及び幼保連携型認定こども園

本番利用及び付随するリハーサルに限定

大ホールの中規模利用（1・2 階 1,582 席）入場料 0～1,000 円での利用料金

中ホール（1,030 席）入場料 0～1,000 円での利用料金

軽減率：利用日、利用施設に応じて 30%～50%

## 3 事業費 8,523 千円

- ・ 補償、補填及び賠償金 8,268 千円（負担軽減措置実施に伴うアクトシティ浜松指定管理者に対する減収分補償金）
- ・ 報償費 255 千円（検討会委員謝礼）

# 収蔵品保管施設整備事業

市民部文化財課

## 1 目的

美術館をはじめとした文化施設の収蔵庫が飽和状態であることへの対応。

## 2 課題

### ・美術館

昭和 46 年 7 月の開館から 43 年が経過し、寄附などにより所蔵点数が約 6,600 点に増加  
収蔵棚に収まらず、通路をふさぐ状態

### ・博物館

廃止・解体された分館にて保管されていた収蔵品の受入に伴う増加

## 3 事業内容

引佐協働センターの空きスペースへの収蔵品保管施設の整備

調温・調湿が必要な収蔵品が保管可能な設備の設置（空調設備、消火設備など）

### ・平成 27 年度 実施設計 など

設計時に、整備内容を調整

## 4 事業費 21,980 千円

・委託料 21,924 千円（実施設計 など）

・役務費 56 千円（計画通知手数料）

# 無形民俗文化財活性化事業

市民部文化財課

## 1 目的

文化財を活かしたまちづくりや民俗芸能の確実な伝承と地域の活性化を図るもの。

## 2 背景

- ・本市を含む三遠南信地域における多様な無形民俗文化財の存在
- ・平成 26 年 12 月 1 日 ユネスコ創造都市ネットワーク（音楽分野）加盟認定

## 3 事業内容

- ・無形民俗文化財保護団体に対する支援
  - 国、県等が主催する民俗芸能を披露する事業に参加する団体に対する激励金
- ・（臨時）無形民俗文化財プロモーション映像の作成
  - ユネスコ創造都市ネットワーク（音楽分野）加盟都市として、市内の指定無形民俗文化財を国内外に紹介するための動画作成
  - 日本語版以外にも英語版、フランス語版などを作成し、国内外に向けて動画を配信
  - 平成 27 年度に実施される世界創造都市フォーラム in 浜松 2015 など、各種イベントにおいても映像を公開し、浜松市の民俗芸能を P R

## 4 事業費 3,580 千円

- ・委託料 2,750 千円（映像作成業務など）
- ・報償費 450 千円（激励金）
- ・その他 380 千円（旅費、役務費）

# 北部地域図書館建設事業

市民部中央図書館

## 1 目的

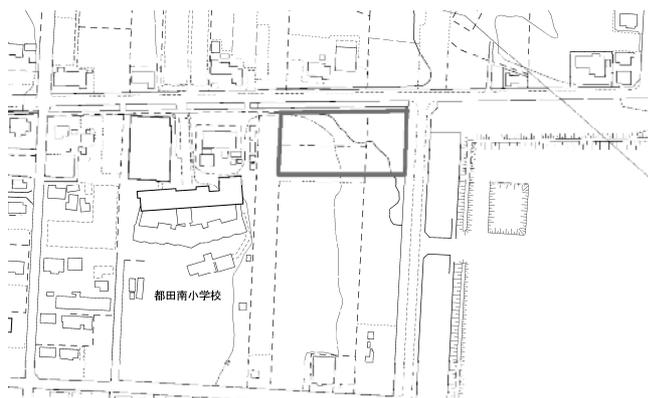
市内の図書館整備状況の中で、図書館サービスが手薄な都田、新都田、三方原地域へ地区図書館を整備するもの。

## 2 背景

平成 26 年度現在、22 館 1 分室にて図書館サービスを提供。

## 3 施設概要

- ・建設地 浜松市北区都田町（都田南小学校東側）
- ・敷地面積 4,100 m<sup>2</sup> 延床面積 1,097.63 m<sup>2</sup>
- ・収蔵能力 72,200 冊
- ・平成 28 年 4 月開館予定



位置図



イメージ

## 4 事業費 483,896 千円（財源：市債 441,700 千円）

- ・工事請負費 450,887 千円（建築、電気設備、機械設備等）
- ・委託料 23,369 千円（図書館サービスシステム導入業務、図書配架等開館準備業務）
- ・備品購入費 5,622 千円（椅子、テーブルなど初度調弁備品）
- ・その他 4,018 千円（需用費、役務費など）

# 美術館施設整備事業

市民部美術館

## 1 目的

浜松市美術館の老朽化した空調設備等の改修。

## 2 課題

昭和 46 年 7 月の開館から 43 年が経過し、空調設備等の老朽化が著しく、展示室の適切な温湿度管理に支障が生じる恐れがある。

## 3 事業内容

浜松市美術館の老朽化設備の改修

- ・機械設備 エアハンドリングユニット、パッケージエアコン、各種ポンプ類等の改修
- ・電気設備 受変電設備、自動火災報知設備改修

平成 27 年度 実施設計 など

設計時に整備内容を調整

## 4 事業費 29,108 千円

※美術館運営事業（施設整備事業）35,108 千円の一部

- ・委託料 29,072 千円（実施設計 など）
- ・役務費 36 千円（計画通知手数料）